

# 茨建協

## ニュース

IBAKENKYOU NEWS

2024.12 NO.665



### ❁ 茨城のお祭り ❁

#### 大子来人 ～ダイゴライト～ (大子町)

令和7年1月31日(金)まで。日没～午後7時

大子町の風物詩としてお馴染みのライトアップイベント。高さ 120メートル、幅 73メートルの雄大な滝がライトに照らされる姿は胸を打つ美しさで、日中に観る滝とはまた違った趣きがある。自然と光が作り出す神秘的空間が、袋田の滝の新たな魅力を発見させてくれる。

#### CONTENTS

- 理事会で上半期事業・決算が承認
- 県建築関連団体交流会と意見交換会
- イーアスつくばで建設業体験会
- 4支部が「道の日」清掃美化活動

理事会

## 意見交換や要望活動推進

## 上半期の事業・決算を承認

本会は11月21日、理事会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催し、令和6年度上半期の実施事業や決算を報告しました。上半期は、経営基盤の強化へ意見交換や要望活動を推進。担い手の確保・育成へ現場見学会などを開催しました。

あいさつで石津健光会長は、建設資材全般の値上げ、自然災害の甚大化を踏まえ「強靱化対策など必要かつ十分な公共事業予算の確保を国や県に強く働きかけてまいりたい」と強調。「建設業が社会的使命を継続して果たしていくためには、会員企業が適正な利潤を確保し、将来にわたる経営基盤の強化を図ることが不可欠である。その上で、担い手の確保や育成、働き方改革の推進、DXへの対応を進めていかなければならない」と指摘。

特に本年4月から時間外労働の上限規制が適用され「課題について、国や県などと情報を共有し乗り切ってまいりたい」と訴えました。

上半期は、経営基盤の強化として、国土交通省関東地方整備局や県土木部との意見交換会、茨城・群馬・栃木三県建設業協会合同会議を開催。

経営改善事業では、監理技術者講習会や現場代理人スキルアップセミナーなどを実施。

地域貢献活動では、5月に県の防災訓練に参加。6月には支部対抗チャリティーゴルフ大会を開催し、チャリティー金を寄贈しました。

人材の確保・育成では、建設業出前授業、建設現場見学会、建設業インターンシップ、新規入職



石津会長



理事会では上半期の事業報告などを承認しました

者研修、新規入職者フォローアップ研修を実施。

働き方改革では、「建設現場土日一斉閉所」運動を呼び掛け、全国健康保険協会県支部と「健康づくりの推進に向けた包括的連携協定」を締結。

委員会活動では、常設4委員会が意見交換会や勉強会などを開催。舗装部会、建設未来協議会、建女ひばり会も多くの活動を実施しました。

決議では入会金・会費規則の一部改正を承認。

理事会後には表彰伝達を実施。勤労者退職金共済機構理事長表彰を受賞した星田建設工業と小沢道路に、石津会長から表彰が伝達されました。



勤退共理事長表彰を受賞した星田建設工業 勤退共理事長表彰を受賞した小沢道路

## 働き方改革推進を

## 県産産連、県建築関連団体が意見交換



本会も加入している茨城県建設産業団体連合会（石津健光会長）と茨城県建築関連団体交流会（柴和伸会長）による意見交換会が11月21日、水戸市の県建設技術研修センターで開かれました。特に働き方改革に向けて、活発に意見を交換。石津会長は「経営環境は厳しく、担い手の確保・育成も喫緊の課題である。建設業界の発展のため、引き続きご協力を」とあいさつしました。

## 売り上げ伸ばす値上げを

## 価格転嫁セミナー



本会は11月18日、「価格転嫁セミナー」を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。「売り上げを伸ばし、従業員を守る」ための価格交渉について研修しました。石津健光会長は「サプライチェーン全体で適切な価格転嫁を進める必要がある。そのため、具体的に取引先と価格交渉をする際の知恵やノウハウを学ぶセミナーを企画した」とあいさつしました。

## 経営企画委員会

## 事業承継のポイント研修



経営企画委員会（沢畑正剛委員長）が12月5日に本会本部で開かれ、事業承継とM&Aについて研修しました。講師の大谷経営コンサルティング代表の大谷金久氏は、事業承継の現状、事業承継の方針と方法、M&Aの種類、事業承継計画のポイントを解説。菊地和幸副委員長は「会社の発展を目指す戦略的な事業承継やM&Aを研修し、経営の糧にしていきたいと思います」とあいさつしました。

## 建設業を身近に感じて！

## イーアスつくばで体験会



本会と建設未来協議会は11月9日、幅広い世代に建設業をより身近に感じてもらうと、建設業体験会をイーアスつくば（つくば市）の平面駐車場で開催。参加した503人（子ども193人、大人310人）に、展示したバックホウや高所作業車への乗車や撮影を体験してもらいました。子どもたちには、建設図鑑やミニ手帳、日立建機特製クリアファイルをプレゼントしました。

**舗装技術講習会**  
**維持管理やICTを研修**



本会は11月22日、日本道路建設業協会関東支部との共催で令和6年度の舗装技術講習会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。道路管理の情勢やICTなどについて研修しました。本会舗装部会の秋山光伯部会長は「道路は産業経済の大動脈である。それを我々が支えている。災害時の重要性を考えると、国全体に貢献している。講習で技術を一層高め、仕事にプラスになるよう勉強していただきたい」とあいさつしました。

**建設業の魅力伝える**  
**霞ヶ浦導水で親子見学会**



最後に記念撮影を行いました

本会は11月13日、「建設業親子見学会2024」を霞ヶ浦導水石岡トンネル第3工区（茨城町上飯沼）で開催しました。小学4～6年生と保護者の20組40人が参加。坑内用バイク試乗体験や地下40mの工事現場見学、ドローン飛行体験などを通して建設業の役割や魅力を伝えました。参加した子どもたちからは「トンネルは怖かったけど楽しかった」「ドローンの操縦がおもしろかった」などの声がありました。

令和6年度

**茨城県技術者表彰受賞者**

(11月表彰分)  
※受賞者(企業名)敬称略

**【潮来土木事務所長表彰】**

- ◆飯村貴幸 (株大地)
- ◆海東昌行 (株茂木工務店)
- ◆大崎茂樹 (松崎建設株)
- ◆米田大介 (常総開発工業株)
- ◆伊川智文 (東城建設株)
- ◆秋本哲也 (株郡司建設)
- ◆野毛勇作 (水郷建設株)
- ◆安藤祐章 (株鹿島企業)
- ◆安藤春美 (安藤造園株)
- ◆保立よしみ (株宏洋)
- ◆小沼克夫 (株根本工務店)

**【筑西土木事務所長表彰】**

- ※主任技術者
- ◆中島純一 (株川田建材工業)
  - ◆仁平大介 (株仁平工務店)
  - ◆横内真文 (株柴建設)
  - ◆永嶋誠 (大内建設株)

- ◆小松本敏子 (総合開発協同組合)
  - ◆水柿仁志 (株マルイ興業)
  - ◆堀江修 (株川田建材工業)
  - ◆大和田清司 (飯田建設興業有)
- ※監理技術者
- ◆磯大樹 (株小倉工務店)
  - ◆小貫高幸 (小貫建設株)
  - ◆高山弘之 (関東道路株)
  - ◆水越友和 (株小葉建設)

**【流域下水道事務所長表彰】**

- ◆塚本克哉 (常総・塚田特定JV)
- ◆清水賢一 (東康建設工業株)

**【鹿島下水道事務所長表彰】**

- ◆根本健二 (小若建設株)
- ◆星越大希 (幸武建設株)

**【鹿島港湾事務所長表彰】**

- ◆立原和幸 (常総開発工業株)
- ◆栃木清秀 (飯島建設株)
- ◆武藤克己 (株郡司建設)
- ◆岡野大輔 (森新建設株)
- ◆左右田春男 (株高正建設)

**【県央農林事務所長表彰】**

- ◆石崎秀明 (株潤沼建設工業)
- ◆佐々木憂磨 (株柴山土建)
- ◆金城光一郎 (東洋工業株)

**【県西農林事務所長表彰】**

- ※土地改良部門発注工事
- ◆飯田人士 (株川田建材工業)
  - ◆永瀬浩幸 (森建設株)
- ※境土地改良事務所発注工事
- ◆菊地修 (株タカノ重機土木)

# 公共事業費に1.9兆円追加

## 国の令和6年度 補正予算案

国の令和6年度補正予算案で、公共事業費には1兆9126億円が計上されました。最も多いのは防災・減災、国土強靱化の1兆1382億円。5か年加速化対策、緊急対応、緊急防災を含む額です。そのほか、自然災害からの復旧・復興に3918億円、「地方創生2・0」の展開に1587億円などを配分しています。

主な強靱化関連事業の公共事業分は以下の通りです。  
◆流域治水等の推進 = 2773億8900万円

- ◆道路ネットワークの機能強化対策 = 1973億7500万円
- ◆道路インフラの局所的な防災・減災対策等 = 449億5000万円
- ◆交通ネットワークの対災害性強化 = 667億4700万円
- ◆河川・ダム、道路、都市公園港湾等の需要インフラ老朽化対策 = 1514億4600万円
- ◆地域における防災・減災、国土強靱化の推進（防災・安全交付金等） = 3620億4200万円

# 技術者兼務が緩和

## 1億円以下、2工事、 3次下請けまで

国土交通省は現場技術者の専任の合理化に向けて、監理技術者制度運用マニュアルの改正を行います。関連する政令、省令に合わせて12月中旬に施行する予定。ポイントは、専任工事現場の兼務と営業所技術者等の現場技術者兼務。要件は双方同じで、請負金額1億円未満（建築一式は2億円）、兼務現場数は2工事以下などとするほか、連絡員の配置が求められます。

改正では、生産性向上のため、情報通信機器を活用する一定の要件に合致すれば兼務が可能となる制度を

創設。また、営業所技術者も営業所ごとに専任で置くことになっていますが、一定の要件に合致する専任工事について兼務ができることとなります。兼務の要件は、政令で定める請負金額のほか、兼務できる現場数は専任現場の兼務2現場以下、営業所技術者は1現場まで。

省令で定めるのは、工事現場間の距離が、一日で巡回可能かつ移動時間（片道）がおおむね2時間以内（自動車等の通常の移動手段）。下請け次数は3次まで。

## 令和7年度 技術検定スケジュール

### ○1級技術検定

検定種目	第一次検定			第二次検定		
	申込受付	試験日	合格発表	申込受付	試験日	合格発表
建設機械	2月17日～3月14日	6月15日	7月28日	2月17日～3月14日	(筆記) 6月15日 (実技) 8月下旬～9月中旬	11月18日
土木	3月21日～4月4日	7月6日	8月14日	3月21日～4月4日	10月5日	R8年1月9日
建築	2月14日～ 2月28日 <sup>*1</sup>	7月20日	8月22日	2月14日～2月28日	10月19日	R8年1月9日
電気工事		7月13日				
管工事	5月7日～5月21日	9月7日	10月9日	5月7日～5月21日	12月7日	R8年3月4日
電気通信工事						
造園						

※1：第一次検定のみ受検者（再受検申請は除く）は、4月7日まで可能

### ○2級技術検定

検定種目	第一次検定			第二次検定		
	申込受付	試験日	合格発表	申込受付	試験日	合格発表
建設機械	2月17日～3月14日	6月15日	7月28日	2月17日～3月14日	(筆記) 6月15日 (実技) 8月下旬～9月中旬	11月18日

検定種目	第一次検定（前期）			第一次検定（後期）・第二次検定		
	申込受付	試験日	合格発表	申込受付	試験日	合格発表
土木 <sup>*1</sup>	3月5日～3月19日	6月1日	7月1日	7月2日～7月16日	10月26日	12月3日（第一次検定） R8年2月4日（第二次検定）
建築	2月7日～2月28日	6月8日	7月9日	7月9日～ 7月23日 <sup>*2</sup>	11月9日	12月22日（第一次検定） R8年2月6日（第二次検定）
電気工事						
管工事	3月5日～3月19日	6月1日	7月1日	7月8日～7月22日	11月16日	R8年1月5日（第一次検定） R8年3月4日（第二次検定）
電気通信工事						
造園						

※1：2級土木施工管理技術検定の第一次検定（前期）については、種別「土木」のみ実施

※2：インターネット申込は、6月26日から7月24日まで可能

# 支部活動報告

## 水戸支部

### 3Dデータ活用を研修



水戸支部(田口恵一郎支部長)は11月13日、3Dデータの利活用セミナーを笠間市民体育館で開催。実機体験として3Dデータを活用した丁張り設置やトータルステーションを使用した測量、その他の測量機器を体験。質疑応答も行い、3Dデータへの理解を深めました。田口支部長は「セミナーは実機体験も含め長時間設けている。最後まで積極的なご参加を」とあいさつしました。

## 高萩支部

### 3地区で「道路ふれあい月間」美化活動



高萩支部(秋山光伯支部長)は11月13日、「道路ふれあい月間」道路清掃美化活動を実施。日立地区、高萩地区、北茨城地区に分かれ、茨城県高萩工事事務所の職員も含め、支部会員約150人が道路美化に努めました。活動ルートは日立港線、国道293号、日立東海線など。秋山支部長は、道路ふれあい月間や「道の日」の意義に触れ、無事故での作業を呼びかけました。

## 常陸大宮支部

### 「道の日」活動に100人



常陸大宮支部(高野潔支部長)は11月1日、道路ふれあい月間「道の日」クリーン作戦として道路清掃を実施しました。茨城県常陸大宮土木事務所や支部員など約100人が参加。国道118号や国道245号沿いなどで作業に汗を流しました。高野支部長は「活動を続け、地域住民に活動していることをもっと知ってもらい、後世まで伝えていきたい」とあいさつしました。

## 潮来支部

### 180人が道路美化活動



潮来支部(松崎里志支部長)は10月25日、道路環境美化活動を実施。支部員および潮来市建設業組合(茂木伊津夫組合長)の組合員ら約180人が参加し、3班に分かれてボランティア活動に励みました。松崎支部長は「日頃の道路維持管理に加え、美化活動も建設業の役割である。本活動により市や県のイメージアップを図りたい」とあいさつしました。

## 大子支部

### 「道の日」美化活動に汗



大子支部(大藤博文支部長)は10月31日、「道の日」の道路美化活動を実施。茨城県大子工務所や大子町の職員、大子支部からも19社94人が参加し、国道118号沿いなどで清掃活動に努めました。大藤支部長は「車の往来に気を付けて作業を進めてほしい。冬場の道路管理などにも皆さんの力をお借りしないといけない。よろしくお願ひしたい」とあいさつしました。

## 竜ヶ崎支部

### 情報共有システムを研修



竜ヶ崎支部(細谷武史支部長)は11月19日、茨城県竜ヶ崎工事事務所(井上和則所長)と「情報共有システム操作講習会」を開催しました。会員の従業員約50人が出席。システムの推奨事業者である現場サポートが提供する「現場クラウドOne」について研修しました。細谷支部長は「対面ではない新たな働き方を研修し、活用の幅を広げていただきたい」と呼びかけました。

# 支部活動報告

## 土浦支部

### 「道の日」清掃活動に400人参加



土浦支部(小林伸行支部長)は11月11日、「道の日」道路清掃を行いました。支部員および茨城県土浦土木事務所(栗林俊一所長)の職員ら約400人が参加し、延べ565.8kmにわたってごみ拾いに汗を流しました。小林支部長は「道路清掃は建設業のイメージアップにも資する活動。利用者に喜ばれる道路となるよう、作業に励んでほしい」と参加者を激励しました。

## 土浦支部

### 霞ヶ浦導水の現場を見学



土浦支部(小林伸行支部長)は11月13日、霞ヶ浦導水工事事務所の現場見学会を小美玉市内にて行いました。支部員約30人が、石岡トンネル第4・5工区の現場を視察。立坑内や泥水処理プラントなどの状況を見て回りました。小林支部長は「貴重な見学の機会をいただき感謝する。現場の状況や段取りの仕方など、さまざまなことを勉強したい」と述べました。

## 常総支部

### 生産性向上へ県と意見交換



常総支部(中川原勇支部長)は10月29日、茨城県常総工事事務所(兼澤公也所長)との意見交換会を開催。常総支部からの提案、常総工事事務所の今後の発注状況などで意見を交わしました。中川原支部長は「現場からの意見も来ており、有意義なものとした。生産性向上ではICTの活用、情報共有化など、常にチャレンジしていかなければならない」とあいさつしました。

## 常総支部

### 支部役員が年末パトロール



常総支部(中川原勇支部長)は12月2日、役員による年末安全の工事現場パトロールを実施しました。建設業の年末年始労働災害防止強調期間に合わせ、支部役員が管内3地区に分かれ、工事現場のパトロールを実施。パトロールは、管理体制・建設機械など

について、「三大災害絶滅安全パトロールチェック表」を参考に行い、無事故無災害を確認しました。

## 境支部

### 働き方改革へ県と意見交換



境支部(新井孝支部長)は11月1日、茨城県境工事事務所(真中剛所長)との意見交換会を開催。2024年問題などの働き方改革やICT施工測量の見積もりについて意見を交わしました。新井支部長は「いかに従業員に還元できるかが問われている。単価を上げれば給与改定につながり、ICTなど覚えることは多いが、乗り切れば新しい未来が待っている」とあいさつしました。

## 境支部

### 情報共有システムを研修



境支部(新井孝支部長)は11月1日、茨城県境工事事務所(真中剛所長)による情報共有システム講習会に参加しました。システムのグループ機能の詳しい内容やファイル管理の活用などについて研修。新井支部長は「各会社で情報を共有して、仕事に生かしてもらいたい。協会としても講習会などを開催していきたい」と話しました。

瑞竜中の2年生に  
**建設業 出前授業**



本会は11月15日、茨城県常陸太田工事事務所（鈴木敬所長）と常陸太田市立瑞竜中学校2年生69人に建設業「出前授業」を行いました。

常陸太田工事職員が建設業の概要やインフラの仕事などを紹介。遠隔臨場の体験も行いました。

建設未来協議会の幹事である石井建設の石井貴之代表取締役は、建設業の役割を紹介。グループワークとしてハザードマップ制作を行いました。また災害写真や映像を流し、自然災害による被害状況や復旧の様子などを説明しました。

授業を受けた生徒は「物を使って実験した砂防事業が分かりやすかった」と話していました。

若者向け現場PR動画  
**東日本建設業保証が公開**



東日本建設業保証は、映像作品の新シリーズを同社YouTubeチャンネルで公開しました。タイトルは「update #1 福島 夜間トンネル工事」。工事現場がアップデートされているところを放映しています。

動画ではスマートフォンを使った安全管理や、巨大な建設機械など、建設業におけるDXの浸透や製品・工法の進化を紹介しています。再生時間は8分。ナレーターは写真家の山崎エリナ氏。

東日本建設業保証のYouTubeチャンネルはリンクフリー。工業高校での説明会や会社説明会などで入職促進のために活用できます。

**新春賀詞交歓会のご案内**

主催 (一社) 茨城県建設業協会  
(一財) 茨城県建設技術管理センター  
茨城県建設業協同組合  
日時 令和7年1月9日(木) 午前11時開会  
場所 水戸京成ホテル  
(水戸市三の丸 1-4-73  
TEL 029-226-3111)

**会員の動向**

〈名称変更〉

▽筑西支部  
羽黒石材工業(株) → (株)ハグロ

〈代表者変更〉

▽常陸大宮支部  
(株)井上工務店 井上 美智子 → 井上 将人

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災  
補償制度 **建設共済保険**

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル **0120 - 913 - 931**

URL : <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー